



# ふらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

**No. 162**

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問)「食」をテーマとした連続テレビ小説や、12月にユネスコの「無形文化遺産」に「和食」が正式登録される見通しという報道など、「日本の料理」があらためて注目されている。昭和のレシピや食の知恵、文化について調べたい。

答)「レシピ」と「昭和」ということばを使って検索してみましょう。

図書 → ことばから調べる → レシピ 昭和  
すべてのことばを含むにチェックをいれる → 11件該当  
『母から娘へ伝える昭和のレシピ』(開架書棚 596/Ma73)  
『スイーツ・ノスタルジー』(地下書庫 596/N39)

**【該当件数が少なかった…別のことばを使って、再度検索してみましょう】**

今度は、「献立」と「昭和」ということばを使って検索してみます。

図書 → ことばから調べる → 献立 昭和  
すべてのことばを含むにチェックをいれる → 57件該当  
『食べかた上手だった日本人』(閉架書庫 383.8/U79)  
戦中の家事(家庭科)の教科書は:『高等小学家事教科書』(閉架書庫 375.53/Mo31/2)

**【調べたいことばが見つからない…開架書棚をながめてみましょう】**

「料理」に関する図書は開架書棚の「7 風俗・民俗」と「9 衣食住」にあります。

『昔の食事 おばあちゃんが食べていた長生きの献立』(開架書棚 383.8/Su96)

北海道から沖縄まで ふるさとの郷土料理についての「聞き書き」シリーズも:

『日本の食生活全集 1～48』(開架書棚 383.8/N71/1～50)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



# 勤労感謝の日とクリスマス!?

来る11月23日は“勤労感謝の日”で、国民の祝日となっています。祝日法(昭和23年(1948)7月20日公布)には、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日であるとされています。

勤労感謝の日は戦前は「新嘗祭」と呼ばれていました。これは天皇がその年の新穀を宮中で供え、感謝するとともに自らも食するというもので、一般には公開されていませんが、皇極天皇(642~)のころに始められたといえます。この新嘗祭が旧暦の「十一月下卯日」と定められており、それを新暦に直すと毎年ほぼ冬至のころでした。しかし明治6年(1873)に改暦が行われた際に、新暦11月の下卯日が23日だったため、以後同日を新嘗祭と決めたことで、毎年冬至から一か月ずれてしまうようになりました。

冬至とは、北半球では太陽が最も遠ざかって光が弱まり、このあと徐々に光の力を強めていく節目に当たります。太陽の光は収穫量に大きな影響をもたらすため、神々への祈りをこめて新嘗祭をこの時期に行うようになったのではないのでしょうか。

一方、クリスマスは、実はキリストの誕生日が不明なため、当初1月1日や3月26日とされた時期もありましたが、三世紀後半ごろから12月25日として祝うようになりました。これは当時、ローマ人やゲルマン人たちに、冬至の日を「太陽の誕生日」として盛大に祝う風習があり、キリスト教徒たちもイエスをこの世に光明をもたらす太陽になぞらえ、冬至こそ救世主の誕生日にふさわしいと考えたからであろうといわれています。

太陽をあがめ、奉った昔の人の風習は、洋の東西を問わず似ているのかもしれませんが、近年、祝日が増えて連休も多くなってきていますが、ただのレジャー休暇としてではなくて、その日のもつ意味を考えてみると面白いのではないのでしょうか。

## ◎参考文献

「国民の祝日」の由来がわかる小事典(386/To34 閉架書庫)

「祝祭日の研究―「祝い」を忘れた日本人へ」(386.9/Sa65 閉架書庫)

「子どもに伝えたい年中行事・記念日」(386/H81 開架書棚(児童書))



## ー写真展のお知らせー

12月23日まで、昭和館2階ひろばにて「GHQ カメラマンが見た戦後の日本ー復興にむけて働く人びとー」を開催しています。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 162

2013年11月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1